

全国盲人按摩专业统编教材

经络腧穴学

李海燕 郑天德 编写

耿恩广 审阅

华夏出版社

样 本 库

全国盲人按摩专业统编教材

经 络 腧 穴 学

李海燕 郑天德 编写

耿恩广 审阅



华夏出版社

1993年·北京

1218072

(京)新登字 045 号

编审委员会名单

滕伟民	王永炎	陆和坤	孙呈祥	耿恩广
成为品	曹传瑞	刘冠玮	杨永谦	郁国民
樊远文	伏天云	贾乃荣	杨晓沛	秦 玺
王欲峰	郑天德	李瑞英	席蛮侨	黄辅民
杨忠诚	李伟洪	金贵全		

全国盲人按摩专业统编教材

经 络 腧 穴 学

李海燕 郑天德 编写

耿恩广 审阅

*

华夏出版社出版发行

(北京东直门外香河园北里4号)

新华书店经销

中国科学院印刷厂印刷

*

787×1092 毫米 16 开本 11.875 印张 245 千字
1993 年 4 月北京第 1 版 (1993 年 4 月北京第 1 次印刷)
印数 1—4 750 册

ISBN7—80053—603—3/R·101

定价: 6.40 元

前 言

为了促进我国按摩事业的发展,提高盲人中等按摩教学的质量,国家民政部人事教育局和中华盲人按摩中心,于1987年决定组织全国各地盲人按摩教学专家和北京中医学院的一些著名教授,编写一套盲人按摩专业的统编教材,并于当年7月在大连召开了第一次编审会议。1988年中国残疾人联合会成立后,加强了盲人按摩工作,在国务院转发的《中国残疾人事业五年工作纲要》中,要求大力发展盲人按摩事业,使本教材的编写工作进一步提到议事日程上来,为此先后在芜湖、徐州召开了第二三次编审会议。

在本套教材的编写过程中,各位承担编写任务的专家遵照教材编审委员会的要求,认真参照了全国中等卫生学校统编教材的最新版本,突出盲人按摩的特点,结合临床按摩和教学经验,综合各地盲人按摩人员的意见,力求本套教材在理论上具有科学性、系统性和完整性;尤其在按摩学部分,能坚持理论联系实际的原则,正确处理好继承和发扬的关系,在教材内容的深度、广度方面,从课程性质、任务的实际出发,对本学科的基础理论和基本技能进行了较全面的阐述,同时又尽量减少了各学科间教材内容的不必要重复和某些脱节。

本套教材包括人体解剖学、生理学与生物化学、病理学、医用微生物学与人体寄生虫学、诊断学基础、内科学、外科学、妇科学、儿科学、中医基础理论、中医诊断学、中药与方剂、经络腧穴学、医古文、古典医著、按摩学基础、内科按摩学、伤科按摩学、妇科按摩学、儿科按摩学、按摩各家学说以及语文、政治、体育、音乐等25门。其中基础课程主要以全国中等卫生学校统编教材为蓝本,根据盲人的特点加以充实、修改而成。所以这套教材不仅适合盲人按摩人员教学使用,也可供其他人员学习或参考。

教材是培养专门人才和传授知识的重要工具,教材质量的高低直接影响到人才的培养,要想提高教材的质量,必须不断地予以锤炼和修改。本套教材是初次编写,不可避免地存在不足之处,衷心希望各地按摩教学人员和广大读者在使用中进行检验,并提出宝贵意见,为进一步修订做好准备,逐步使之成为科学性更强,教学效果更好的盲人按摩专业的教学用书,以期更好地适应我国盲人按摩事业发展的需要。

全国盲人按摩专业统编教材编审委员会

1990年8月

编写说明

经络腧穴学是中医基础理论之一，是学习按摩的必修课。本书是按照全国盲人按摩专业统编教材编审委员会的要求，针对盲人按摩专业教学的特点，结合临床实际需要编写而成。

全书共7章。第一二章分别概述了经络的起源与发展，经络系统，经络的功能、临床应用，腧穴的起源与发展，腧穴的分类、定位方法及作用。第三章为十二经脉，介绍了十二经脉，十五络脉，十二经别，十二经筋的循行、病候及分布在十二经脉上的腧穴的部位、功能、主治和按摩手法等内容。第四章为奇经八脉，分别介绍了八脉的分布部位、功能与病证，任、督脉络及所属腧穴。第五章为经外奇穴，介绍了46个奇穴的部位、主治和按摩手法。第六章选辑了部分常用腧穴歌诀。第七章是古代体表部位名称解释。

在本书编写过程中，我们参考了不少有关经络腧穴的教材，力求做到内容全面、系统，通俗易懂，特色突出，使之更适合盲人按摩专业教学之用。

由于本教材尚属初次编写，作者经验不足且水平有限，谬误之处在所难免。请广大师生和读者在使用中提出宝贵意见，以便在修订中得以提高。

山西省盲人中级卫生学校

1992.2

目 录

第一章 经络概述	1
第一节 经络学说的起源与发展.....	1
第二节 经络系统.....	3
一、十二经脉.....	3
二、奇经八脉.....	6
三、十二经别.....	7
四、十五络脉.....	8
五、十二经筋.....	9
六、十二皮部.....	9
第三节 经络的功能.....	10
一、运行气血,协调阴阳.....	10
二、抗御病邪,保卫机体.....	11
三、传注病邪,反映病候.....	11
四、传导感应,调整虚实.....	12
第四节 经络的临床运用.....	12
一、望色切脉.....	12
二、依部循经.....	13
三、按压诊察.....	13
四、据经论治.....	14
第二章 腧穴概述	15
第一节 腧穴的起源与发展.....	15
第二节 腧穴的命名.....	16
一、根据物象命名.....	16
二、根据器官命名.....	16
三、与解剖有关的命名.....	16
四、根据治疗作用命名.....	17
五、根据中医理论命名.....	17
第三节 腧穴与经络脏腑的关系.....	17
第四节 腧穴的分类.....	18
一、十四经腧穴.....	18
二、经外奇穴.....	18
三、阿是穴.....	18

第五节 腧穴的定位方法	19
一、骨度分寸法	19
二、体表标志法	19
三、手指同身寸法	20
四、简便取穴法	21
第六节 特定穴	22
一、五腧穴	22
二、原穴	22
三、络穴	23
四、郄穴	23
五、背俞穴	23
六、募穴	24
七、八会穴	25
八、八脉交会穴	25
九、下合穴	26
十、交会穴	26
第七节 腧穴的作用	29
一、反应病证, 协助诊断	29
二、接受刺激, 防治疾病	29
第三章 十二经脉	31
第一节 手太阴	31
一、手太阴经脉	31
二、手太阴络脉	32
三、手太阴经别	32
四、手太阴经筋	32
五、手太阴肺经腧穴(11穴)*	32
(一) 中府	32
(二) 云门	32
(三) 天府	32
(四) 侠白	33
(五) 尺泽	33
(六) 孔最	33
(七) 列缺	33
(八) 经渠	34
(九) 太渊	34
(十) 鱼际	34
(十一) 少商	34
第二节 手阳明	35
一、手阳明经脉	35

二、手阳明络脉	35
三、手阳明经别	36
四、手阳明经筋	36
五、手阳明大肠经腧穴(20穴)*	36
(一) 商阳	36
(二) 二间	37
(三) 三间	37
(四) 合谷	37
(五) 阳溪	37
(六) 偏历	38
(七) 温溜	38
(八) 下廉	38
(九) 上廉	38
(十) 手三里	38
(十一) 曲池	39
(十二) 肘髎	39
(十三) 手五里	39
(十四) 臂臑	39
(十五) 肩髃	39
(十六) 巨骨	40
(十七) 天鼎	40
(十八) 扶突	40
(十九) 禾髎	40
(二十) 迎香	40
第三节 足阳明	41
一、足阳明经脉	42
二、足阳明络脉	43
三、足阳明经别	43
四、足阳明经筋	43
五、足阳明胃经腧穴(45穴)*	43
(一) 承泣	43
(二) 四白	44
(三) 巨髎	44
(四) 地仓	44
(五) 大迎	44
(六) 颊车	45
(七) 下关	45
(八) 头维	45
(九) 人迎	45
(十) 水突	45
(十一) 气舍	46

(十二) 缺盆	46
(十三) 气户	46
(十四) 库房	46
(十五) 屋翳	46
(十六) 膺窗	47
(十七) 乳中	47
(十八) 乳根	47
(十九) 不容	47
(二十) 承满	47
(二十一) 梁门	47
(二十二) 关门	48
(二十三) 太乙	48
(二十四) 滑肉门	48
(二十五) 天枢	48
(二十六) 外陵	48
(二十七) 大巨	49
(二十八) 水道	49
(二十九) 归来	49
(三十) 气冲	49
(三十一) 髀关	49
(三十二) 伏兔	50
(三十三) 阴市	50
(三十四) 梁丘	50
(三十五) 犊鼻	50
(三十六) 足三里	50
(三十七) 上巨虚	51
(三十八) 条口	51
(三十九) 下巨虚	51
(四十) 丰隆	51
(四十一) 解溪	51
(四十二) 冲阳	52
(四十三) 陷谷	52
(四十四) 内庭	53
(四十五) 厉兑	53
第四节 足太阴	54
一、足太阴经脉	54
二、足太阴络脉	55
三、足太阴经别	55
四、足太阴经筋	55
[附] 脾之大络	55
五、足太阴脾经腧穴(21穴)*	55

(一) 隐白	55
(二) 大都	56
(三) 太白	56
(四) 公孙	56
(五) 商丘	56
(六) 三阴交	56
(七) 漏谷	57
(八) 地机	57
(九) 阴陵泉	57
(十) 血海	57
(十一) 箕门	58
(十二) 冲门	58
(十三) 府舍	58
(十四) 腹结	58
(十五) 大横	58
(十六) 腹哀	59
(十七) 食窦	59
(十八) 天溪	59
(十九) 胸乡	59
(二十) 周荣	59
(二十一) 大包	59
第五节 手少阴	60
一、手少阴经脉	61
二、手少阴络脉	61
三、手少阴经别	61
四、手少阴经筋	61
五、手少阴心经腧穴(9穴)*	62
(一) 极泉	62
(二) 青灵	62
(三) 少海	62
(四) 灵道	62
(五) 通里	62
(六) 阴郄	63
(七) 神门	63
(八) 少府	63
(九) 少冲	63
第六节 手太阳	64
一、手太阳经脉	65
二、手太阳络脉	65
三、手太阳经别	65
四、手太阳经筋	65

五、手太阳小肠经腧穴(19穴)*	65
(一) 少泽	65
(二) 前谷	66
(三) 后溪	66
(四) 腕骨	66
(五) 阳谷	66
(六) 养老	66
(七) 支正	67
(八) 小海	67
(九) 肩贞	67
(十) 臑俞	67
(十一) 天宗	68
(十二) 秉风	68
(十三) 曲垣	68
(十四) 肩外俞	68
(十五) 肩中俞	68
(十六) 天窗	68
(十七) 天容	69
(十八) 颞髻	69
(十九) 听官	70
第七节 足太阳	70
一、足太阳经脉	70
二、足太阳络脉	71
三、足太阳经别	71
四、足太阳经筋	72
五、足太阳膀胱经腧穴(67穴)*	72
(一) 睛明	72
(二) 攒竹	72
(三) 眉冲	72
(四) 曲差	72
(五) 五处	73
(六) 承光	73
(七) 通天	73
(八) 络却	73
(九) 玉枕	73
(十) 天柱	73
(十一) 大杼	74
(十二) 风门	74
(十三) 肺俞	74
(十四) 厥阴俞	74
(十五) 心俞	75

〈十六〉督俞	75
〈十七〉膈俞	75
〈十八〉肝俞	75
〈十九〉胆俞	75
〈二十〉脾俞	76
〈二十一〉胃俞	76
〈二十二〉三焦俞	76
〈二十三〉肾俞	76
〈二十四〉气海俞	77
〈二十五〉大肠俞	77
〈二十六〉关元俞	77
〈二十七〉小肠俞	77
〈二十八〉膀胱俞	77
〈二十九〉中膂俞	78
〈三十〉白环俞	78
〈三十一〉上髎	78
〈三十二〉次髎	78
〈三十三〉中髎	78
〈三十四〉下髎	79
〈三十五〉会阳	79
〈三十六〉承扶	79
〈三十七〉殷门	79
〈三十八〉浮郤	79
〈三十九〉委阳	80
〈四十〉委中	80
〈四十一〉附分	80
〈四十二〉魄户	80
〈四十三〉膏肓	80
〈四十四〉神堂	81
〈四十五〉谿谿	81
〈四十六〉膈关	81
〈四十七〉魂门	81
〈四十八〉阳纲	81
〈四十九〉意舍	81
〈五十〉胃仓	82
〈五十一〉肓门	82
〈五十二〉志室	82
〈五十三〉胞肓	82
〈五十四〉秩边	82
〈五十五〉合阳	83
〈五十六〉承筋	83
〈五十七〉承山	83

(五十八) 飞扬	83
(五十九) 跗阳	83
(六十) 昆仑	84
(六十一) 仆参	84
(六十二) 申脉	84
(六十三) 金门	84
(六十四) 京骨	84
(六十五) 束骨	85
(六十六) 足通谷	85
(六十七) 至阴	85
第八节 足少阴	87
一、足少阴经脉	87
二、足少阴络脉	87
三、足少阴经别	88
四、足少阴经筋	88
五、足少阴肾经腧穴(27 穴)*	89
(一) 涌泉	89
(二) 然谷	89
(三) 太溪	89
(四) 大钟	89
(五) 水泉	90
(六) 照海	90
(七) 复溜	90
(八) 交信	90
(九) 筑宾	90
(十) 阴谷	91
(十一) 横骨	91
(十二) 大赫	91
(十三) 气穴	91
(十四) 四满	92
(十五) 中注	92
(十六) 育俞	92
(十七) 商曲	92
(十八) 石关	92
(十九) 阴都	93
(二十) 腹通谷	93
(二十一) 幽门	93
(二十二) 步廊	93
(二十三) 神封	93
(二十四) 灵墟	93
(二十五) 神藏	94

(二十六) 彘中	94
(二十七) 俞府	94
第九节 手厥阴	95
一、手厥阴经脉	95
二、手厥阴络脉	96
三、手厥阴经别	96
四、手厥阴经筋	96
五、手厥阴心包经腧穴(9穴)*	96
(一) 天池	96
(二) 天泉	96
(三) 曲泽	97
(四) 郄门	97
(五) 间使	97
(六) 内关	97
(七) 大陵	97
(八) 劳宫	98
(九) 中冲	98
第十节 手少阳	99
一、手少阳经脉	99
二、手少阳络脉	100
三、手少阳经别	100
四、手少阳经筋	100
五、手少阳三焦经腧穴(23穴)*	100
(一) 关冲	100
(二) 液门	100
(三) 中渚	100
(四) 阳池	101
(五) 外关	101
(六) 支沟	101
(七) 会宗	101
(八) 三阳络	102
(九) 四渎	102
(十) 天井	102
(十一) 清冷渊	102
(十二) 消泺	102
(十三) 臑会	103
(十四) 肩髃	103
(十五) 天髃	103
(十六) 天髃	103
(十七) 翳风	103
(十八) 瘰脉	104

(十九) 颞息	104
(二十) 角孙	104
(二十一) 耳门	104
(二十二) 和髎	104
(二十三) 丝竹空	105
第十一节 足少阳	105
一、足少阳经脉	105
二、足少阳络脉	107
三、足少阳经别	107
四、足少阳经筋	107
五、足少阳胆经腧穴(44穴)*	107
(一) 瞳子髎	107
(二) 听会	108
(三) 上关	108
(四) 颞厌	108
(五) 悬颅	108
(六) 悬厘	108
(七) 曲鬓	108
(八) 率谷	109
(九) 天冲	109
(十) 浮白	109
(十一) 头窍阴	109
(十二) 完骨	110
(十三) 本神	110
(十四) 阳白	110
(十五) 头临泣	110
(十六) 目窗	110
(十七) 正营	111
(十八) 承灵	111
(十九) 脑空	111
(二十) 风池	111
(二十一) 肩井	111
(二十二) 渊腋	112
(二十三) 辄筋	112
(二十四) 日月	112
(二十五) 京门	112
(二十六) 带脉	113
(二十七) 五枢	113
(二十八) 维道	113
(二十九) 居髎	113
(三十) 环跳	113

(三十一) 风市	114
(三十二) 中渎	114
(三十三) 膝阳关	114
(三十四) 阳陵泉	114
(三十五) 阳交	114
(三十六) 外丘	115
(三十七) 光明	115
(三十八) 阳辅	115
(三十九) 悬钟	115
(四十) 丘墟	115
(四十一) 足临泣	116
(四十二) 地五会	116
(四十三) 侠溪	116
(四十四) 足窍阴	116
第十二节 足厥阴	118
一、足厥阴经脉	118
二、足厥阴络脉	119
三、足厥阴经别	119
四、足厥阴经筋	119
五、足厥阴肝经腧穴(14穴)*	119
(一) 大敦	119
(二) 行间	119
(三) 太冲	120
(四) 中封	120
(五) 蠡沟	120
(六) 中都	120
(七) 膝关	120
(八) 曲泉	121
(九) 阴包	121
(十) 足五里	121
(十一) 阴廉	121
(十二) 急脉	121
(十三) 章门	122
(十四) 期门	122
第四章 奇经八脉	124
第一节 督脉	124
一、分布部位	124
二、功能与病证	124
三、督脉络	125
四、督脉腧穴(28穴)	125
(一) 长强	125

(二) 腰俞	126
(三) 腰阳关	126
(四) 命门	126
(五) 悬枢	126
(六) 脊中	126
(七) 中枢	127
(八) 筋缩	127
(九) 至阳	127
(十) 灵台	127
(十一) 神道	127
(十二) 身柱	128
(十三) 陶道	128
(十四) 大椎	128
(十五) 哑门	128
(十六) 风府	128
(十七) 脑户	129
(十八) 强间	129
(十九) 后顶	129
(二十) 百会	129
(二十一) 前顶	129
(二十二) 囟会	130
(二十三) 上星	130
(二十四) 神庭	130
(二十五) 素髻	130
(二十六) 人中	130
(二十七) 兑端	131
(二十八) 龈交	131
第二节 任脉	132
一、分布部位	132
二、功能与病证	132
三、任脉络	133
四、任脉腧穴 (24 穴)	133
(一) 会阴	133
(二) 曲骨	133
(三) 中极	134
(四) 关元	134
(五) 石门	134
(六) 气海	134
(七) 阴交	134
(八) 神阙	135
(九) 水分	135